

会 議 録

- 1 会議名称 令和6年度 第1回 市民太陽光発電所・市民還元事業検討懇話会
- 2 報 告 (1) 市民太陽光発電所・市民還元事業検討懇話会の体制について
(2) 市民太陽光発電所の近況について
- 3 議 題 (1) 令和5年度 市民還元事業の実施報告について
(2) 令和6年度 市民還元事業の実施状況について
(3) 令和7年度 市民還元事業の実施方針について
- 4 開催日時 令和6年9月5日(木) 14時10分～15時10分
- 5 開催場所 北九州市役所5階 特別会議室B
(北九州市小倉北区域内1-1)
- 6 出席構成員 北九州商工会議所 専務理事 羽田野 隆士
北九州市PTA協議会 会長 穴井 秀和
北九州ESD協議会 会員 泉 優佳理
北九州市女性団体連絡会議 元会長 土井 智子
※座長以外は、五十音順

7 議事の概要

(1) 令和5年度 市民還元事業の実施報告について

令和5年度の市民還元事業について、実施内容を報告した。

1 北九州ポップカルチャーフェスティバル2023

・マンガ・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーをテーマにした九州最大級のイベントを、あるあるCity等様々な場所で開催した。

2 まつりみなみ2023

・小倉南区の活力あるまちづくりの推進及び区民の一体感を醸成するため、幅広い年齢の方が参加していただける区民のまつりを、4年ぶりに開催した。

3 夜のにぎわい創出～和布刈の新しい形・月あかり～

・和布刈地区のにぎわい創出のために、景観を活かした夜間のライトアップや、門司港新グルメの初販売、ステージイベント等を実施した。

4 みなとの魅力再発見事業

・クルーズ客船寄港時の船内見学会や北九州港開港記念イベント等を開催し、広く「みなとまち門司港」の魅力を体感していただいた。

5 まつり八幡東2023

・市政60周年を記念し、子どもまつりや、まつり大集合として山笠の競演会等を実施し、子どもたちふるさとでの思い出づくりができた。

- 6 市制 60 周年記念 黒崎イルミネーション事業
 - ・黒崎駅前のペDESTリアンデッキにてイルミネーション事業及び連動イベントを実施し、黒崎地区のにぎわいを創出した。
- 7 こどもてらす「戸畑イルミネーション」(旧戸畑市制 100 周年記念)
 - ・浅生 1 号公園等のライトアップや、戸畑区役所の一部を開放し、多世代・多文化・地域交流を促進するイベント等を開催した。
- 8 自治会・町内会魅力発信事業
 - ・各自治会・町内会が、大学生・NPOとも連携し、地域住民の要望の高い事業を各区で取り組んだ。
- 9 地域で育もう「未来の種」事業
 - ・市民センター・地域団体を主体とし、子どもの健全な発達・育成を促す「ボランティア」や「自然」等に関わる体験活動を実施した。
- 10 年長者の祭典(敬老行事)
 - ・北九州芸術劇場にて、高齢者の長寿をお祝いし、また長年にわたる高齢者福祉の増進に寄与してきた市民・団体等を表彰した。
- 11 食と笑顔でつながる子ども食堂食育活動事業
 - ・企業と大学が連携して開発を行った商品のPR動画を制作した他、子ども食堂の啓発グッズを作成し、販売利益による子ども食堂への寄付増加を図った。
- 12 未来のスタートアップ育成事業
 - ・市内の小・中学校にて、市内で活躍する起業家との交流、グループワーク、グループごとの成果発表会等を実施した。
- 13 門司港ナイトバブルパフォーマンス
 - ・門司港駅前広場にて、シャボン玉をライトアップして幻想的な空間を作り出すイベントを実施し、夜の時間帯の門司港のにぎわい創出を行った。
- 14 小倉祇園太鼓「次の 100 年へ」“未来の担い手育成”事業
 - ・小学校や市民センター等で、小倉祇園太鼓の歴史を学ぶ座学や、実際に太鼓に触れる体験、レクチャー動画を活用し、祭り開催に向けた機運の醸成を行った。
- 15 第 49 回小倉南区子どもまつり
 - ・来場者にとっての学びの場を提供するため、地域を挙げてのお祭りを開催し、ステージイベントや各団体・企業によるワークショップ等を実施した。
- 16 「Z 世代」をターゲットとした若松の魅力再発掘、発信事業
 - ・若松のまちの魅力を写真に撮っていただくフォトコンテストや Z 世代をターゲットとした若松の魅力映像の制作等を行った。
- 17 スポーツ振興事業 夢追う人達×わたし×未来
 - ・小・中学校、幼稚園にてアスリートとの交流や体験事業を行った他、体力向上のためダンスフェスティバルを実施した。
- 18 小倉城を中心とした周辺にぎわい創出事業(小倉城竹あかり PR 事業)
 - ・航空機内モニターや韓国で行われたイベントへのブース出展等により、「小倉城竹あかり」を国内外へ PR を実施した。

(2) 令和 6 年度 市民還元事業の実施状況について

令和 6 年度の市民還元事業について、一部予定変更となった事業について説明した。

- ・「門司港レトロ地区回遊性向上事業」及び「ウォーカブルなまち・戸畑の魅力創出事業」、「～門司の歴史・魅力を再発見～門司 125 周年記念事業」は、事業効果を上げるためにイベントを見直し、当初の予定よりも絞って、実施事業に注力することとなった。

(3) 令和7年度 市民還元事業の実施方針について

以下のとおり、令和7年度の市民還元事業の実施方針を説明した。

募集事業

- ・「市政 50 周年の基本構想」を、市民還元事業の基本理念とする。
- ・令和7年度の募集については、この基本理念を踏まえた上で、北九州市で新たに作成した新ビジョンに掲げる3つの重点戦略の実現に寄与する事業を募集したい。

《市制 50 周年基本構想の4つテーマ》

- ① 市民や地域の力を活かしながら一体となることで、まちの力をさらに引き出す
- ② 郷土・故郷への愛情を深め、誇りを高める
- ③ 本市の強みを国内外に向けてアピールし、まちに人を呼び込む
- ④ 将来を担う子ども達に夢や希望を与える

《新ビジョンの3つの重点戦略》

- ① 「稼げるまち」の実現
- ② 「彩あるまち」の実現
- ③ 「安らぐまち」の実現

選定方法

- ・庁内へ事業を募集し、検討懇話会の意見を聴取したうえで選定を行う。
- ・申請額が 300 万円を超える事業は、第2回の検討懇話会で、プレゼンテーションを実施する。

8 経 過（発言内容）

(1) 令和5年度市民還元事業の実施報告に関する意見

- ・「黒崎イルミネーション」と「戸畑イルミネーション」の効果の現れ方について、1日当たりの人数が違う。本当は戸畑の方も、もっと効果があるのではないかと思う。
⇒黒崎は駅前のペDESTリアンデッキで実施しており、通常駅を利用されている方にも楽しんでいただけるような場所のため、数が増えているところである。
(事務局回答)
- ・動画のビュー数を報告書に記載してほしい。
⇒令和6年度の実施事業からは、波及効果や動画の視聴数もご報告する。(事務局回答)
- ・「みなとの魅力再発見事業」の応募の倍率にびっくりした。これだけ人に注目されているので、今後もこういった事業が続いたらいい。
- ・今年度の「まつりみなみ」は、今までの志井公園ではなく自衛隊で開催された。成功だったと思っているが、場所は狭いと感じた。

(2) 令和7年度市民還元事業の実施方針に関する意見

- ・「稼げるまち」の実現とは、どんなイメージか。最近の市民還元事業に多い、人を呼び込むイベントも「稼げるまち」に合うのか。
⇒各まちの活力というところで、稼げるような事業を推進していき、その利益をもとに、いろんな方に配分するというところで、最初の原資、最初のエンジンとして、「稼げるまち」という表現になっている。まず、人に来ていただいにぎわいを創出することが目的だが、その表裏一体として、お金を落としていただくことで、「稼げるまち」の実現にもつながると判断する。
市民還元事業の趣旨は、市政50周年の基本構想に集約されており、この中からまず選んでいただいて、その事業が3つの重点戦略のどこにはまるかを各局・区役所に考えていただく。(事務局回答)
- ・最近の市民還元事業は、各区の夏祭りにシフトしている。最長3年の選定が切れたときに、祭りの継続は大丈夫なのか。
⇒継続してほしいという声が多いが、永続的な行政からの支援というのは正直厳しい。市民還元事業に選定されている間に、例えば花火大会の優良席のような、別の予算の獲得・手当を考えていただきたいところである。(事務局回答)
- ・少額でも予算があれば続いていく、助かる、イベントがあるかもしれない。今年を選定事業は全て100万円以上だが、例えば50万円までの枠を作ってみてはどうか。
- ・稼ぐという意味では、市民還元事業を原資に、物を制作・販売して収益を上げるような企画が来てもいいと思う。

9 その他 傍聴者無

10 問い合わせ先 港湾空港局 総務部 総務課 経理・経営係 (電話 093-321-5916)